

第 4 次男女共同参画プランまるがめ

令和 4 年度事業実績

担当課長による事業の評価とその理由

丸亀市総務部人権課男女共同参画室

目 次

担当課長による事業の評価とその理由

広聴広報課	1
職員課	2
危機管理課	3
秘書政策課	4
庶務課	5
人権課	6
男女共同参画室	7
福祉課	8
子育て支援課	9
高齢者支援課	10
健康課	11
生活環境課	12
生涯学習課	13
図書室	14
スポーツ推進課	15
都市計画課	16
建設課	17
住宅課	18
産業観光課	19
農林水産課	20
消防総務課	21
教育総務課	22
学校教育課	23
幼保運営課	24
議会事務局	25
選挙管理委員会	26

担当課	広聴広報課
-----	-------

【広聴広報課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	1	【1】	5	C	これまでも男女いずれかに偏らない表現をとなるよう配慮してきたが、R4年度においても同様の取り組みを行った。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	職員課
-----	-----

【職員課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	3	【2】	32	B	いずれの施策も、短期的な成果の検証にはなじまず、確たる目標に向けて中長期的に地道に継続していくことが必要である と考えるため、取組を維持している点を踏まえてB評価とした。
◎、○	4	【3】	45	B	
◎、○	5	【2】	79	B	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまででない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	危機管理課
-----	-------

【危機管理課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	3	【4】	36	C	・女性の防災士資格取得については、各コミュニティに働きかけを行ったが、女性取得者の割合は低い状況であった。 ・全ての避難者に配慮した避難所運営や被災者支援について、自主防災会総会で説明するとともに、一部の地区において、避難行動要支援者の避難行動を含めた訓練を行うことができた。
◎	3	【4】	39	B	
	6	【1】	85		

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	秘書政策課
-----	-------

【秘書政策課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	7	【4】	113	C	外国人相談業務を積極的に行うとともに、日本語教室開催により、外国人住民の日本語学習機会の確保に努めた。また、多文化共生防災講座を開設し、安心して暮らせる環境の整備に努めた。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	庶務課
-----	-----

【庶務課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【2】	42	B	本市発注工事において、毎月第2土曜日を統一休業日とする取組を実施することにより、建設現場の労働環境の向上やワークライフバランスの改善に努めることができたことから、B評価としております。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	人権課
-----	-----

【人権課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	1	【2】	8	B	・他自治体の取組等も情報収集して研修で紹介する等、市職員の意識向上を目指して効果が上がるよう意識した研修等の取組みを図った。 ・当事者への支援や理解促進の為の取組を継続的に実施することで、多様性を認め合い、誰もが自分らしく安心して生活できる社会が実現するよう努めた。また、パートナーシップ宣誓制度の導入により、多様性を認め合う市の姿勢を示した。
◎	7	【5】	114	B	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	男女共同参画室
-----	---------

【人権課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
○	1	【1】	1	B	<p>・女性活躍の推進として、「丸亀市女性人財リスト事業実施要領」を策定し、3名の登録者を市ホームページに公開したことによって、1件のリスト利用申込があったことから、今後も登録者の増加およびリスト利用申込数の増加を目指して、リストの周知等に努めたい。また、政策・方針決定過程への女性参画の推進および人材育成を目的として、「丸亀市女性議会」を初開催し、参加者からも貴重な経験ができた等感想をいただいた。今後は「議会」という形に固定せず、よりよい形につなげていきたい。</p> <p>・女性の貧困対策のため、新採研修の内容に貧困問題についても取り入れているが、限定的な周知となるため、より広く、特に若い層へ情報が届くよう周知啓発の工夫が必要である。</p> <p>・市役所女性職員の計画的な人材育成として、「能力開発・発揮研修」を継続実施していく意義も高いと考える。今年度は1回の実施であったが、各講師と調整の上、年3～4回実施していきたい。あわせて、登用された管理職が働き続けられるような支援も要すると思われる。</p> <p>・あらゆる暴力を許さない意識の醸成に向けた啓発として、丸亀警察署と協働して「若年層の性暴力被害防止啓発教室」を令和4年度に初めて実施したが、参加者アンケートでは約84.5%が「参考になった」と回答していたことから、継続して実施していくべきと考える。</p>
◎、○	1	【1】	4	B	
○	1	【1】	6	B	
/	1	【2】	7	/	
/	1	【2】	9	/	
○	2	【3】	15	B	
◎、○	2	【3】	18	C	
○	3	【1】	27	B	
○	3	【2】	31	C	
◎、○	3	【2】	33	C	
○	3	【3】	34	C	
○	3	【4】	37	C	
○	4	【1】	40	C	
○	4	【2】	43	C	
○	4	【3】	46	C	
/	4	【10】	63	/	
/	4	【10】	68	/	
/	4	【10】	70	/	
○	5	【1】	74	B	
/	5	【1】	77	/	
○	5	【2】	80	C	
/	5	【3】	82	/	
○	6	【1】	86	B	
/	6	【1】	90	/	
○	6	【2】	91	B	
/	6	【3】	92	/	
/	6	【3】	93	/	
/	6	【6】	97	/	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	福祉課
-----	-----

【福祉課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	2	【6】	24	C	<p>24の生理の貧困については、災害備蓄の入替え時に配布等を行うこととしており、当年度については入替えが無かったことから配布実績は無いが、今後も備蓄資源の有効活用により女性が自己管理により健康を維持できるための事業として、危機管理課、社会福祉協議会及び民間団体等と協議・調整を継続的に行っていく。</p> <p>52については、増加する障がい児やその家族の相談件数に適切に対応するためのコーディネーターの増員を図ることができており、これに伴って支援計画作成の充実化にもつながっている。</p> <p>100については、コロナ禍であったが、予定事業を実施したことにより、学力の向上が見られるなどの一定の成果をあげることができた。</p> <p>出席者の減少も見られたが、活動内容を工夫し、子どもの居場所づくりとしての役割も担えた。</p>
◎、○	4	【6】	52	C	
◎	7	【1】	100	C	
	7	【2】	104		
	7	【3】	109		

◎:事業計画あり
○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	子育て支援課
-----	--------

【子育て支援課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
○	4	【6】	50	C	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂・居場所づくりネットワークを新たに構築し、地域での子ども支援について取り組めた。 ・各事業において、計画どおりに取り組めた。
/	4	【6】	53	/	
/	4	【6】	56	/	
◎、○	4	【6】	57	C	
◎	6	【1】	87	C	
◎	6	【4】	94	C	
/	6	【4】	95	/	
/	6	【5】	96	/	
/	6	【6】	98	/	
/	6	【6】	99	/	
/	7	【1】	101	/	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	高齢者支援課
-----	--------

【高齢者支援課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	4	【7】	60	C	介護分野における市(行政)のかかわり方が制度上のものである限り、独自の施策展開が困難であると考え。そういった意味では、プラン上の取り組みで効果を上げていくことは難しくC評価になってしまう。そのような中でプランを活用した総合相談事業および市独自の高齢者福祉施策(介護認定を受けていない方を基本対象としている)による介護予防事業に組み込み、健康寿命を延ばしていくことで間接的にプランにて想定している事業効果を上げていきたい。
◎	4	【9】	62	C	
	4	【10】	65		
◎	7	【2】	105	C	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	健康課
-----	-----

【健康課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	2	【5】	22	B	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進計画(後期計画)や自殺対策基本計画見直しに伴い、健康増進の推進に向け、様々な機会を捉え周知啓発に取り組んでいる。 ・健診の受診率については、コロナ禍ではあるが受診率が増加している。今後も対象者が受診しやすい体制づくりに取り組んでいく必要がある。 ・ゲートキーパーの養成講座を継続的に実施することができている。今後も自殺予防に寄り添える支援者や理解者を増やしていく必要がある。 ・男性料理教室の参加者が自宅で料理をするようになり、食生活への関心を高めることができている。今後も教室の開催など継続的な活動が必要である。
○	2	【5】	23	B	
/	2	【6】	25	/	
/	2	【6】	26	/	
◎	4	【4】	47	B	
◎、○	4	【10】	64	B	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	生活環境課
-----	-------

【生活環境課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【10】	69	B	地域活動の参加は、性別、年代などを問わず、誰もが参加できるよう、コミュニティ協議会等を活用し、周知・啓発に努めた。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	生涯学習課
-----	-------

【生涯学習課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
○	2	【3】	16	B	16. 地域コーディネーター養成講座については、前年度参加者の意見も参考にしながら内容を充実させた。 19. 子育て世代に役立つテーマの講座を設けるとともに、初めてオンライン受講ができるようにした。参加者のアンケートには「オンライン講座は子育て世代にとって受講しやすかった」という意見も見られた。 71. 地域活動が継続して行えるよう、市民活動者のニーズを把握しながら、交流会や相談対応を行った。
◎	2	【3】	19	B	
◎、○	4	【10】	71	B	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	図書館
-----	-----

【図書館長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	1	【1】	2	C	男女共同参画に関する資料の収集に努め、男女共同参画週間に特別展示を行うことで学習機会を提供し、情報発信や啓発を行うことができた。 お父さんにおすすめする読み聞かせのための絵本を展示することで、父親が子育てに積極的に関わることができるような機会の提供ができた。
/	2	【3】	17	/	
◎	4	【10】	66	C	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	スポーツ推進課
-----	---------

【スポーツ推進課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	1	【1】	3	B	研修会実施において男女共同参画プランに沿って、参加者のひとりひとりの意識改革を行うことで理解を深めることができた。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	都市計画課
-----	-------

【都市計画課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【5】	49	C	事業番号49については、コンパクトシティの推進のため、立地適正化計画の推進や、4街区整備などを推進しているが、一朝一夕に効果が出るものでないことから、継続して推進していきたい。 事業番号72については、当初計画通り公園整備ができたことにより、安全な遊び場確保につながれたことから、他地区においても事業推進を進めていきたい。
◎	4	【10】	72	B	
	7	【2】	106		
	7	【3】	110		

◎: 事業計画あり

○: 数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	建設課
-----	-----

【建設課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	7	【2】	108	B	幹線道路の整備事業では、国の交付金制度を活用することで、整備区間の拡大や新規路線にも着手した。舗装の修繕事業でも、起債制度を活用しながら事業を実施した。
◎	7	【3】	112	B	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	住宅課
-----	-----

【住宅課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【10】	73	B	本島コミュニティセンター、総合運動公園多目的広場にベビーチェア、ベビーベッド等を備えた男性トイレや多目的トイレを整備し、男性が子育てに参画しやすくなるための環境整備を推進した。
/	7	【1】	102	/	
/	7	【2】	107	/	
/	7	【3】	111	/	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	産業観光課
-----	-------

【産業観光課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
○	3	【3】	35	C	<p>意思決定の場への女性参画推進については、目標値には届かなかったものの年間233件の企業訪問を行い、女性活躍推進やワークライフバランス等についてのニーズや状況把握に努めた。</p> <p>働き方改革の推進については、キッズウィーク推進協議会を中心に「丸亀こどもデー」を実施し、キッズウィーク期間中は関係各課・各種団体・市内事業者により、関連イベント等を開催するなど、「子どもの学校・園の休業日」と「大人の有給休暇取得」による休みをマッチングし、家族と一緒に休日を過ごす機会を創出した。</p> <p>また、創業支援については、産業振興支援補助金の「創業」メニューの申請件数14件、創業相談件数99件のうち、どちらも女性比率が50%であり、女性の創業支援につながった。</p>
◎、○	4	【1】	41	C	
○	4	【2】	44	C	
○	4	【4】	48	C	
◎	5	【1】	75	B	
◎	5	【1】	76	B	
/	5	【1】	78	/	
/	5	【2】	81	/	
/	5	【3】	83	/	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	農林水産課
-----	-------

【農林水産課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	5	【3】	84	C	構成員に大きな変化がなかったため

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	消防総務課
-----	-------

【消防総務課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	3	【4】	38	C	普及活動により消防団の認知度向上を期待したが、イベントの縮小や中止により、想定した効果が得られなかった。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	教育総務課
-----	-------

【教育総務課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	4	【6】	58	B	<ul style="list-style-type: none"> ・めざす姿の実現のため、働く親が安心して子供を預けることができる施設の整備を行った。 ・困難を抱える人が必要な支援を確実に受けられるよう庁内の連絡体制の整備を行った。
◎	7	【1】	103	B	

◎: 事業計画あり

○: 数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	学校教育課
-----	-------

【学校教育課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
	2	【1】	10		国が令和2年度から令和4年度末までの3年間を性犯罪・性暴力の集中強化期間としたことを受け、本課としまして、国や県の通知を受け、各校に対して周知や校長会等での機会を捉えた指導を行った。 「生命(いのち)の安全教育」に関して、年間計画を作成し発達段階に応じた指導を行うなど、先進的に研究を行う小学校もあった。 しかしながら、市内全体への意識の広がりや保護者への啓発活動等については不十分であるため、今後は、関係課とも連携しながら、さらなる指導の充実を図る必要性があると考えている。
◎	2	【1】	12	C	
	2	【2】	14		
◎	2	【4】	20	C	
	3	【1】	28		
	4	【6】	54		
◎	6	【1】	88	C	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	幼保運営課
-----	-------

【幼保運営課長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
	1	【1】	11		<p>「男女の性をともに理解・尊重する意識の浸透」については、子どもに対して日々の保育・教育を通して生命の大切さを伝えることができた。「保育士の確保」については、事業の拡充により修学や就職に対して支援し、保育士の不足解消に向けて寄与することができた。そして、「あらゆる暴力を許さない意識の醸成に向けた啓発の実施」については、コロナ禍のため保護者に対してはお便り等の配布を通じた啓発が中心となったが、職員に対しては園内研修を通して意識の浸透を図れた。</p>
	1	【1】	13		
◎	1	【1】	21	C	
○	1	【2】	51	B	
	1	【2】	55		
	2	【3】	59		
◎、○	2	【3】	61	B	
	3	【1】	67		
◎	6	【6】	89	C	

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	議会事務局
-----	-------

【議会事務局次長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎	3	【1】	29	B	3年ぶりの議会報告会や学生との意見交換会など政治への関心を高める取組を行うとともに、議会だよりの表紙を飾る写真を公募するなど、議会を身近に感じられる工夫も見られた。令和4年度は、半数近い54名の女性が議会を傍聴された。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。

担当課	選挙管理委員会
-----	---------

【選挙管理委員会事務局長による施策実施評価とその理由】

評価対象	目標	施策番号	事業番号	評価	評価の理由
◎、○	3	【1】	30	B	新型コロナの影響により、目標値には届かなかったが、模擬投票の他にも、学校などで行う選挙に選挙器具を貸出したり、選挙時にコミバスフリーパスキャンペーン(選挙期間中バスの利用料を無料とするキャンペーン)を実施する等して選挙啓発に努めたことから、Bとしました。

◎:事業計画あり

○:数値目標あり

評価の表記	評価の基準
A	積極的に新たな施策を実施し、目指すまちの姿に近づいた。これまでにない効果があった。
B	これまでの課題を踏まえて改善を図り、目指すまちの姿実現に向けた施策推進が図れた。
C	目指すまちの姿に対して、前年度とほぼ同様の取り組みであり、目指すまちの姿への到達度には変化がなかった。
D	目指すまちの姿に対して、施策を行っておらず、事業の見直しが必要である。